

北海道における秋まき小麦の栽培概要（前編）

北海道オホーツク総合振興局 産業振興部
網走農業改良普及センター 紋別支所
興部(おこっぺ)分室

専門普及指導員 佐藤 康 司

1. 北海道における秋まきコムギの栽培概要

1) 栽培地域

北海道における秋まき小麦は北部や東部の酪農・畜産地帯を除いて、ほぼ全道的に作付されている作物である¹⁾。なかでも、主要な産地である十勝・網走地方（網走地方は2010年4月よりオホーツク地方に改称したが、本報では網走地方と表記する）（図1）では3～4年輪作の大規模な畑作農業が展開されており、秋まき小麦はてん菜、馬鈴薯、豆類と並んで主要な作物となっている。



薄緑色の部分が秋まきコムギ。

写真1. 十勝地方の畑作風景
(2011年7月9日撮影)

2) 気象条件

十勝・網走地方の年間平均気温は帯広（十勝地方）で6.5℃、北見（網走地方）で6.1℃と道庁所在地である札幌の8.9℃に対してやや低い（表1）。ちなみに、作物の主要な栽培期間である4～10月の平均気温も帯広が13.8℃、北見が13.5℃であり、札幌の15.6℃に対して約2℃低く

なっている。

3) 栽培面積

秋まき小麦の栽培面積は約107,000ha、そのうち十勝地方で45,500ha、網走地方で、24,500haを占めており、この二地方で約70,000haにのぼる（表1）。これは、関東・東山（山梨・長野・岐阜）、東海、九州地方を合わせた秋まき小麦栽培面積とほぼ同等である。

4) 品種と収量

栽培されている品種は2011年現在で日本めん用の「ホクシン」が秋まき小麦面積の67%と大きな割合を占めているが、

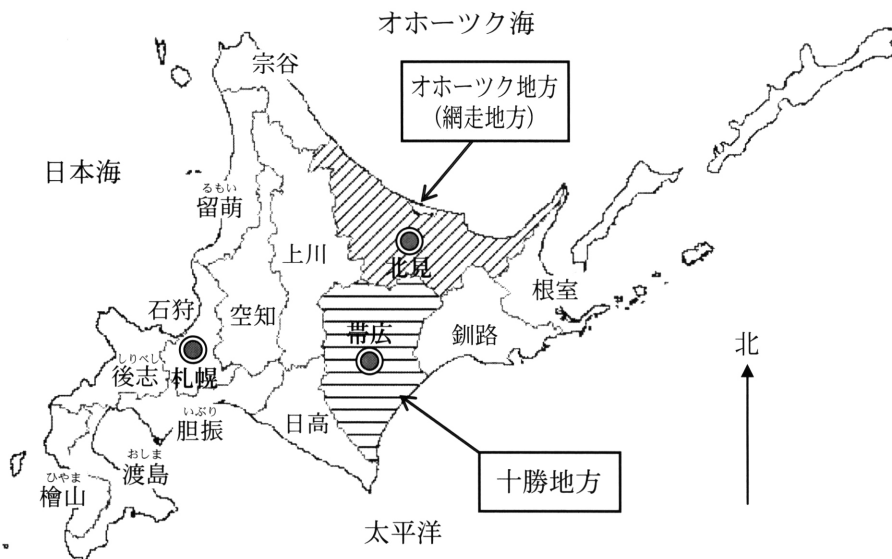


図1. 北海道

表 1. 北海道におけるコムギの栽培面積, 気象条件

項目	年	面積	備考	
北海道の面積		8,345,600ha		
秋まきコムギの栽培面積	2011	106,799ha		
地方別	十勝地方	2011	45,000ha	中心都市：帯広
	網走地方	2011	24,500ha	中心都市：北見
品種別	「ホクシン」	2011	71,712ha	1994年, 道立北見農試育成
	「きたほなみ」	2011	31,456ha	2006年, 道立北見農試育成
	「キタノカオリ」	2011	1,400ha	2003年, 農水省北海道農試育成
	「タクネコムギ」	2011	725ha	1974年, 道立北見農試育成
	「ホロシリコムギ」	2011	715ha	1974年, 道立北見農試育成
	「きたもえ」	2011	748ha	2000年, 道立北見農試育成
	「ゆめちから」	2011	32ha	2009年, 北海道農業研究センター育成
春まきコムギの面積	2011	9,501ha		
緯度		北緯41～45°	ローマ～ミラノ(イタリア)と同程度	
年平均気温(札幌)	平年	8.9℃		
年平均気温(帯広)	平年	6.5℃		
年平均気温(北見)	平年	6.1℃		
4～10月平均気温(札幌)	平年	15.6℃		
4～10月平均気温(帯広)	平年	13.8℃		
4～10月平均気温(北見)	平年	13.5℃		

2008年からの新品種「きたほなみ」への全面置き換えが進み、その栽培面積は秋まき小麦面積の29%に上っている¹⁾。

平均収量は近年400～500kg/10aで推移しているが、十勝、網走地方の収量は毎年全道平均を上回り、550kg/10aに達する年も多い。

2. 北海道における秋まき小麦の栽培体系

秋まき小麦の播種は9月中旬～下旬に行われる(図2)。播種された秋まき小麦は11月中～下旬(葉数4～5枚程度)まで生長し、越冬する。翌年の融雪後から再び生長を開始し、5月上旬に幼穂が形成され、5月末に止葉が展開し、6月上～

中旬に出穂、7月下旬～8月上旬に成熟期を迎え、収穫が行われる体系となっている。このように、北海道における秋まき小麦は生育期間がおよそ10カ月と長い。したがって、前作物は9月上旬までに収穫が終わるジャガイモまたは菜豆(金時など)となるが、秋まき小麦の連作も見られる。

窒素施肥体系は、1990年代に基肥重点施肥から起生期重点施肥に移行し、現在もこれが主流となっている²⁾。北海道の秋まき小麦は11月下旬頃～4月上旬頃まで積雪下で越冬するため、この期間は生育が一時的に停止する。

したがって、基肥としては越冬前までの生育に必要な量だけ施用して融雪水による肥料窒素の流亡ロスを抑え、本格的な生育が始まる融雪後(起生期)に十分な量の窒素を追肥する。

起生期の窒素分施量の設定については、次号で詳細を説明する。

9月		10月		11月		12月		1月		2月	
中旬	下旬	中旬	下旬	中旬	下旬	中旬	下旬	中旬	下旬	中旬	下旬
播種期				越冬							

3月			4月			5月			6月			7月			8月
中旬	下旬	下旬	中旬	下旬	下旬	中旬	下旬	中旬	下旬	中旬	下旬	中旬	下旬	中旬	
越冬			起生期			幼穂形成			止葉抽出			出穂・開花			成熟期

図2. 北海道における秋まきコムギの生育ステージ



写真2. 秋まきコムギの起生期の様子

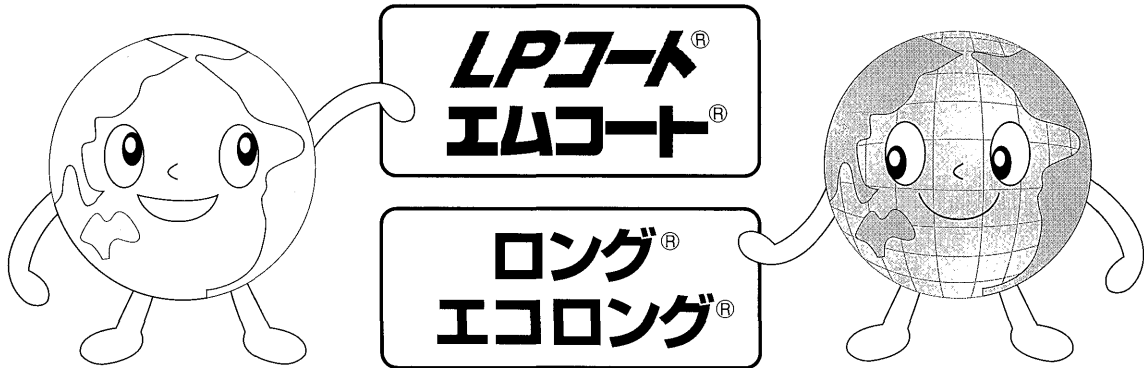
文 献

- 1) 北海道農政部：麦類・豆類・雑穀便覧，麦類編（2011）
- 2) 北海道農政部：北海道施肥ガイド，p. 59～69（2002）

語句説明

起生期：融雪後、茎葉が起きあがり始めた日（写真2）。融雪時期によるが、概ね4月中旬～下旬。

作物の生育にマッチした養分の供給！ ジェイカムアグリのコーティング肥料



原 肥		LPコート・エムコート	ロング・エコロング
		尿素	硝酸系化成肥料
主な溶出タイプ	直線型	20、40、70、100、120、140	40、70、100、140、180、270、360
	シグモイド型	30、40、60、80、100、120	70、100、140、180
使 用 場 面		水稲、麦、豆類、野菜など	野菜、花卉、果樹、茶など
主 な 製 品		LPコート複合、エムコート複合	ロング、エコロング、スーパーロング、スーパーエコロング